

3. カリキュラムについて【学籍番号 24K－26K】

経済経営学部の皆さんへ

わが国の経済社会を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。高度経済成長期から安定成長に向かう中で、日本の企業は教養豊かな労働力と終身雇用という安定した雇用形態に支えられて発展してきました。しかしながら、近年はグローバル化、ボーダレス化の波にもまれ、企業の組織力よりも、個人の能力が大きく評価されるようになってきております。そのような中で、今学生に求められているものは、幅広い教養と真の実力を備えた専門知識です。それら进行评估する基準の一つは資格取得です。本学では多くの資格を得られるようなカリキュラムを構築しております。学習のスケジュールは大きく分けて、1年次・2年次の必修科目を中心に経済・経営・情報に関する幅広い知識を修得し、2年次以降で専門性を追求する仕組みになっております。また、1つの専門分野に固まらないよう、ダブルコース制を採用しています。

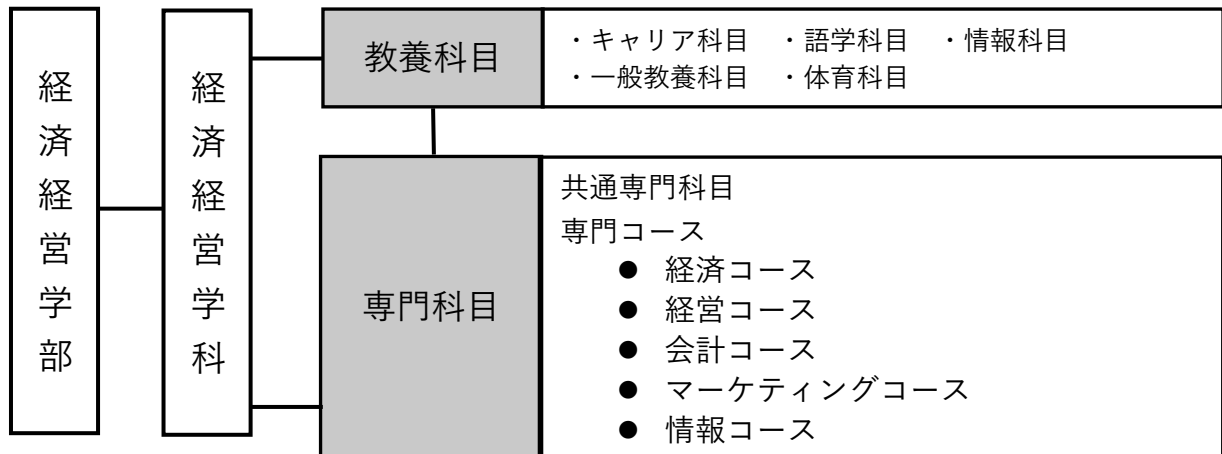
長岡大学の教育

毎日の大学生活で「充実感」、能力アップを実感して「達成感」、4年間を振り返って「満足感」、しっかりと学べる環境がある「安心感」を合い言葉に、より良い就職や進学が出来るように、次のような特徴を持ったカリキュラムを用意しております。

●実践で役立つ教育

●資格重視の教育

●ダブルコースによる幅広い専門知識の修得



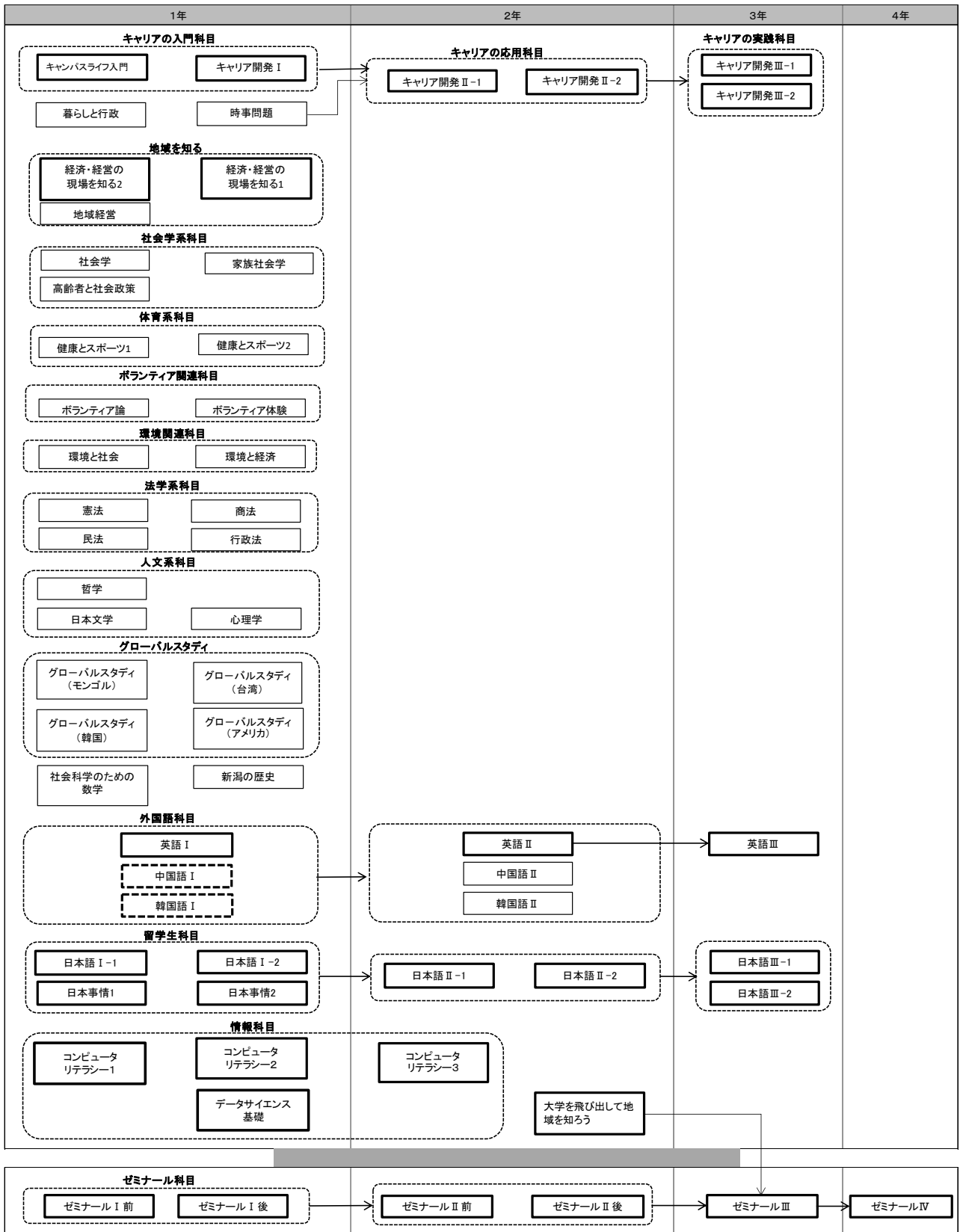
3-1 教養科目について

本学での「教養」の学びは、専門科目の学びへの導入であるのに加えて、人が社会で生活しさらには仕事や人間関係を円滑にするために必要とされる知識や知性の修得を目的としています。幅広い教養を身に付けることにより、個々の専門的な学びを各自の知識として体系化する土台が形成されるとともに、将来社会人として生きるための社会人基礎力の醸成にもつながります。

本学の教養科目には、キャリア、外国語、法学、社会学、ボランティア、人文系、グローバルスタディなど様々な分野の科目が用意され、幅広いジャンルから学ぶことができます。専門科目と関連づけて応用力を高めたり、現代社会を生きるための知識を身につけたりすることができます。これからの生涯学習社会においてより有意義で豊かな人生を築いていくためにも、学問の面白さに気づく足がかりになってほしいと願っています。

(教養科目の科目系統図)

学籍番号
24 K
—
26 K



(注) 太線の枠の科目は必修科目、破線の枠の科目は選択必修科目

専門科目

3-2 専門コースの紹介【学籍番号24K-26K】

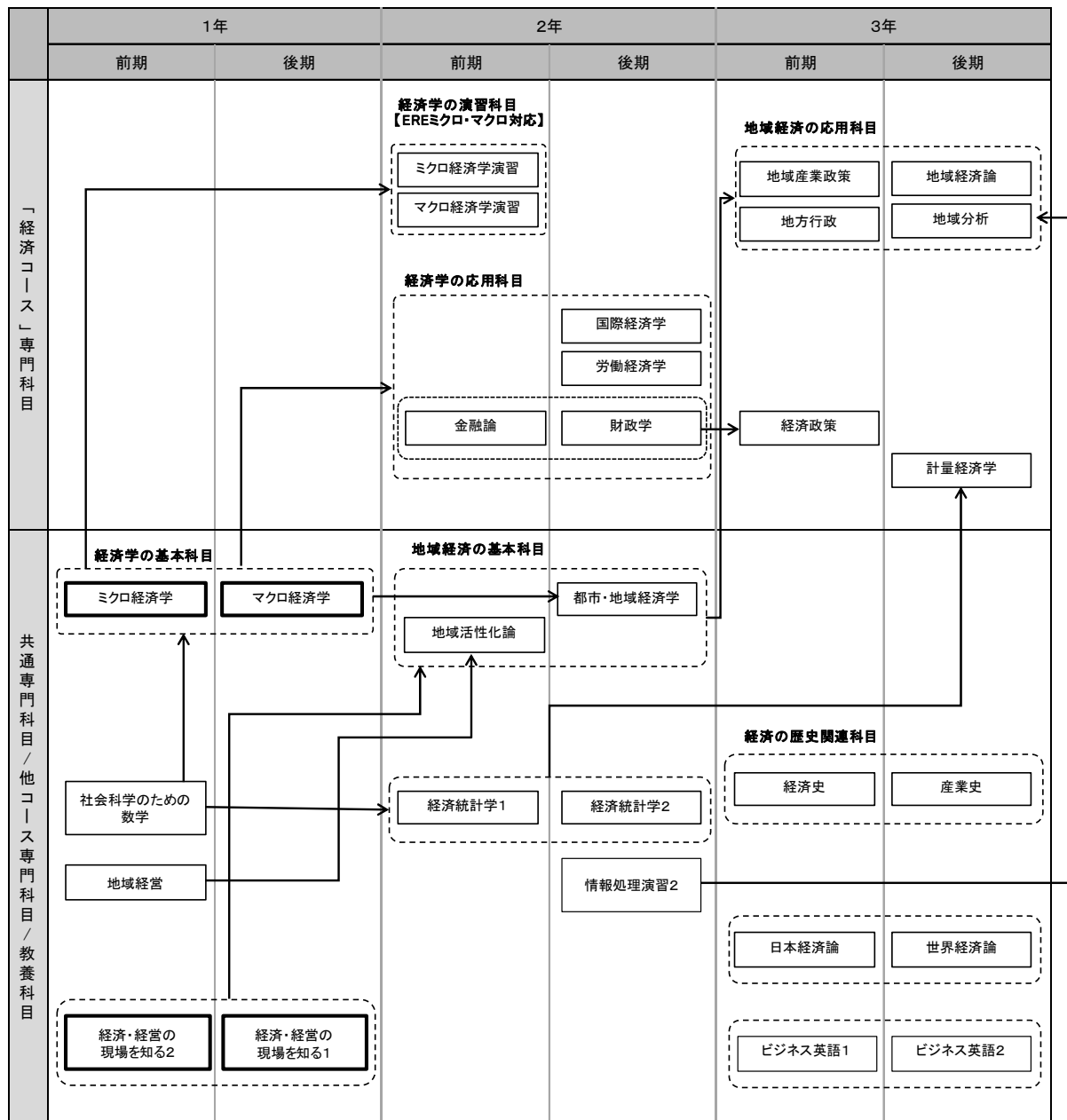
①経済コース

本コースは、経済の基礎知識を土台として地域社会や国際社会で活躍できる人材の育成を目的としています。経済学の基礎知識、地域経済・日本経済・国際経済などの専門知識、行政関連の知識の修得を目指します。卒業後は、本コースでの学びの成果をもとに、地元企業、グローバル企業、金融機関、地方公共団体等で力を発揮してもらいたいと願っています。

〔目指す主要な業種・分野〕 企業全般／金融機関／国家・地方公務員など

〔目指す主要な職種・部門〕 総合職／総務／企画／広報／営業／販売など

(経済コースの科目系統図)



(注) 太線の枠の科目は必修科目

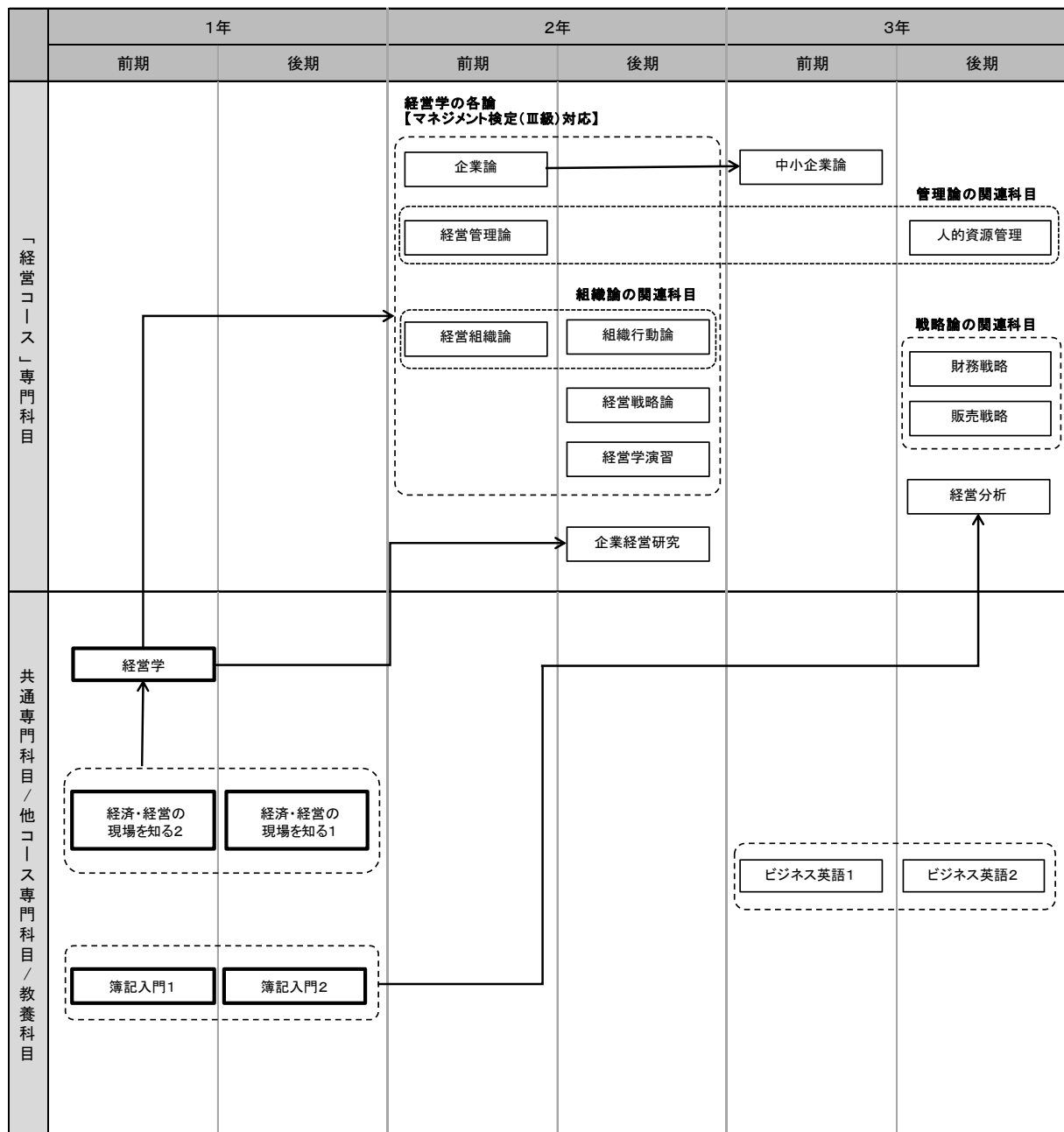
②経営コース

本コースは、企業経営やビジネスの知識を深めて、事業を成功に導く能力を持った人材の育成を目的としています。経営学の基礎を学び、企業システム、管理論、組織論などの学びに展開していきます。卒業後は、本コースでの学びの成果をもとに、企業組織のリーダーまたは自ら経営者として活躍してもらいたいと願っています。

〔目指す主要な業種・分野〕 企業全般／自営業／起業など

〔目指す主要な職種・部門〕 経営コンサルタント／企画／広報／人事／営業／販売など

(経営コースの科目系統図)



(注) 太線の枠の科目は必修科目

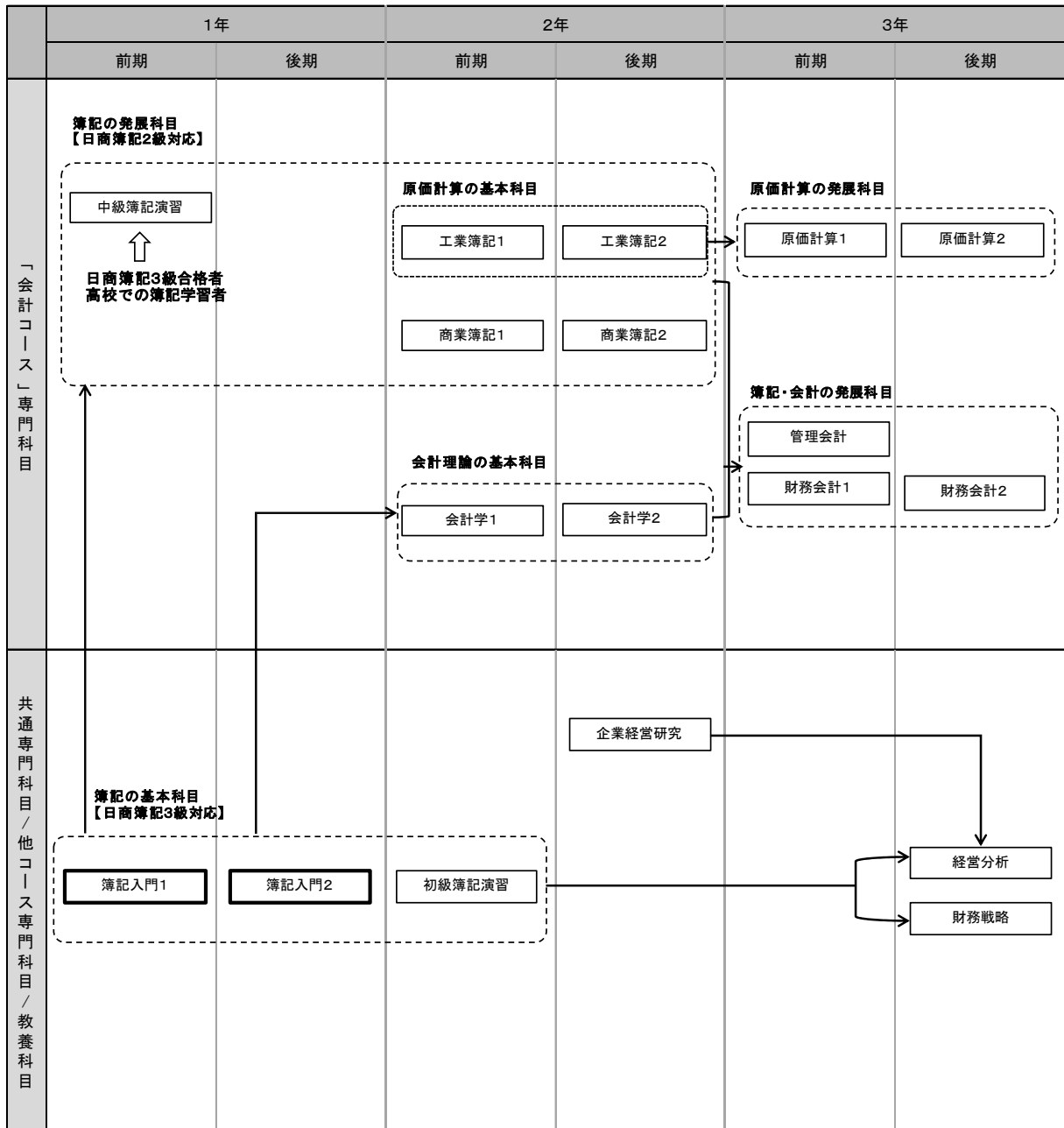
③会計コース

本コースは、将来的に企業の事務部門を統括できる人材の育成を目的としています。事務会計の基本を総合的に身に付けるため、経営関連の学びを深めるとともに、日商簿記検定関連科目を中心とした科目に取り組みます。卒業後は、本コースの学びの成果をもとに、一般の企業組織、金融機関、会計事務所などで活躍していただけるよう願っています。

〔目指す主要な業種・分野〕 企業全般／金融機関／会計事務所／税理士事務所など

〔目指す主要な職種・部門〕 総務／経理／財務など

(会計コースの科目系統図)



(注) 太線の枠の科目は必修科目

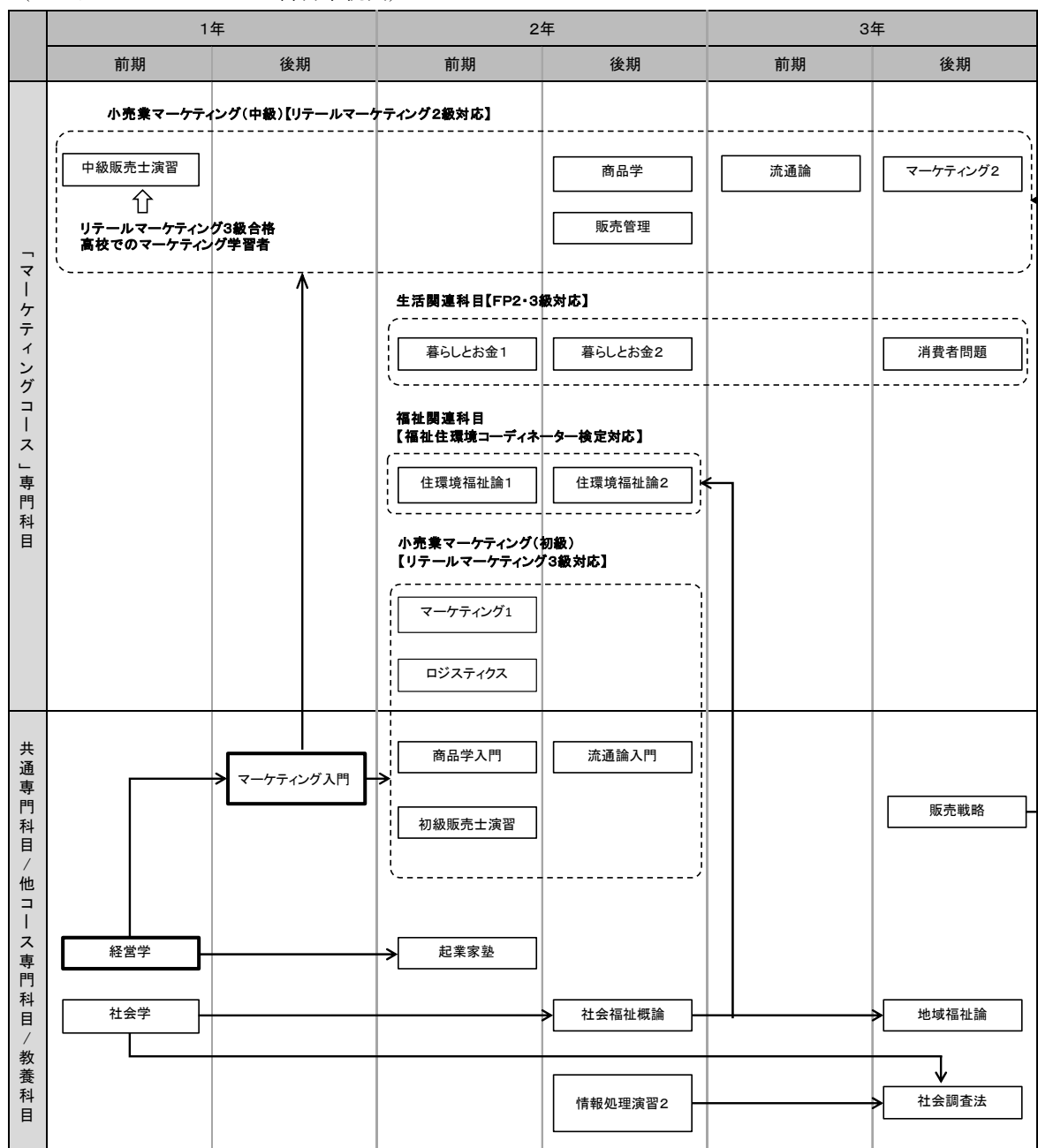
④マーケティングコース

本コースは、個人のライフスタイルや経済活動をサポートすることができ、また企業の製品開発や販売戦略を企画することができる人材の育成を目的としています。消費者と企業の両方の立場から商品やサービスの開発や供給について学び、さらに、サービス提供や生活者の視点から福祉関連の分野も学びます。卒業後は、本コースの学びの成果をもとに、小売業、卸売業、サービス業、金融機関、福祉関連などの分野で活躍してもらいたいと願っています。

〔目指す主要な業種・分野〕 企業全般／小売・卸売業／サービス業／金融機関／福祉関連など

〔目指す主要な職種・部門〕 総務／企画／商品開発／広報／営業／販売／ファイナンシャル・プランナーなど

(マーケティングコースの科目系統図)



(注) 太線の枠の科目は必修科目

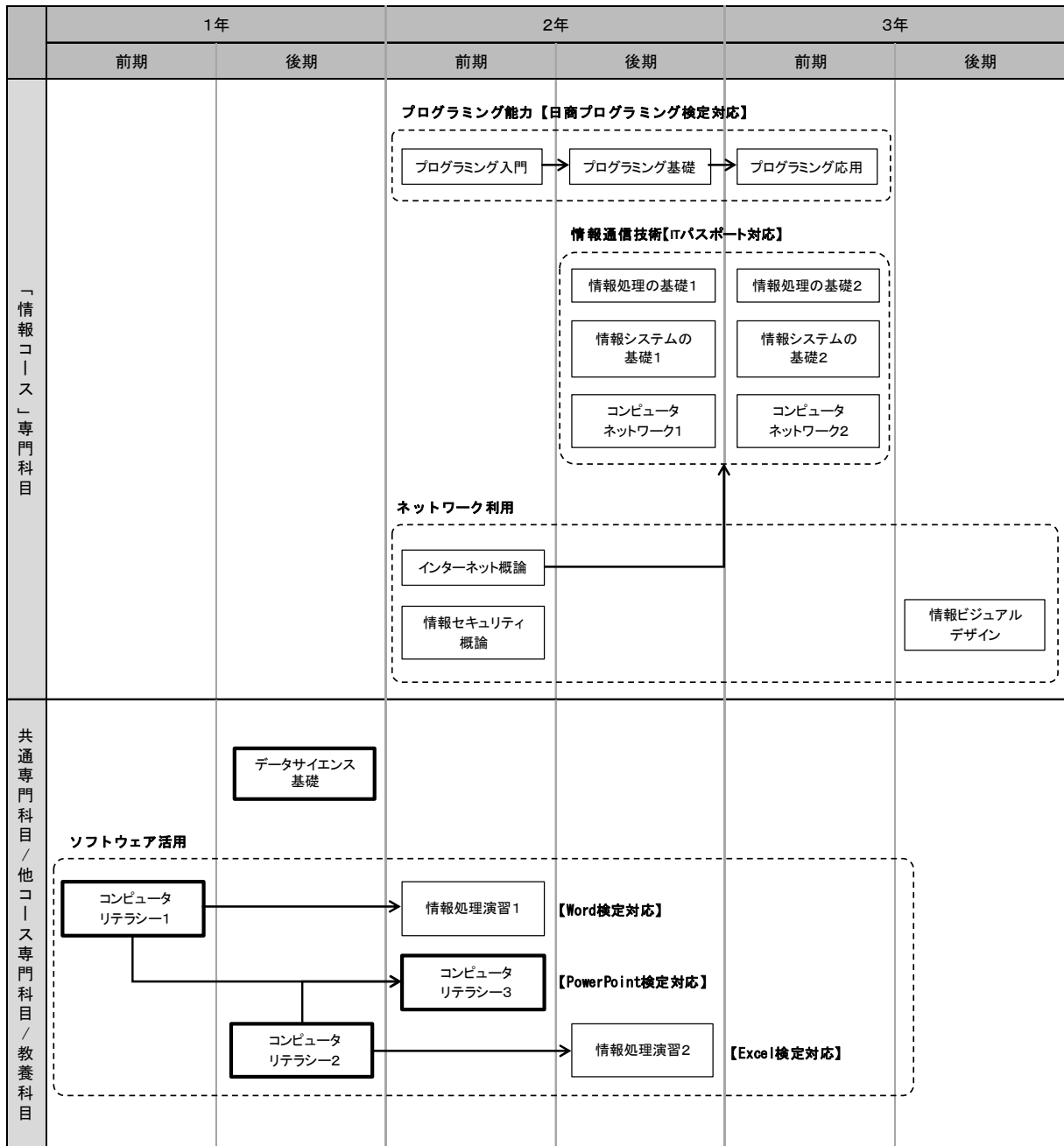
⑤情報コース

本コースは、企業における様々な場面（企画立案、営業実務、販売管理等）に必要な IT スキルを身に付けた人材の育成を目的としています。ソフトウェア活用（Word、Excel、PowerPoint 等）の知識・スキルを土台に、プログラミング、インターネット利用、セキュリティ技術等の学びへ展開します。卒業後は、本コースでの学びの成果をもとに、一般企業や情報通信業などの分野で活躍してもらいたいと願っています。

【目指す主要な業種・分野】 企業全般／情報通信業など

【目指す主要な職種・部門】 システムエンジニア／情報システム管理者／Web クリエイター／
ネットワーク管理者など

(情報コースの科目系統図)



(注) 太線の枠の科目は必修科目

③専門科目（コース共通専門科目）

【学期】学期の後に②は週2時限、ク=クラス指定 【主要授業科目】必修科目（選択必修科目を除く）

【科目】●：必修科目、◎：選択必修科目、○：選択科目、網掛け：コース推奨科目

大区分	小区分	科目名	担当教員	配当年次	学期	単位数			授業形態	コース推奨科目																ディプロマポリシー					科目コード (ナンバリング)	
						必修	選択必修	選択		1年次				2年次				3年次				4年次				①地域社会に貢献する姿勢	②職業人として通用する能力	③専門的知識・技能を活用する能力	④コミュニケーション能力	⑤情報収集・分析力		
										経済	経営	会計	情報	経済	経営	会計	情報	経済	経営	会計	情報	経済	経営	会計	情報							
専 門	共 通 専 門	ミクロ経済学	瀧波 慶信	1	前②	4			講義	●	●	●	●														◆	◆		2436-0-11-001		
		マクロ経済学	牧野 智一	1	後②	4			講義	●	●	●	●														◆	◆		2436-0-11-002		
		経営学	高橋 哲郎	1	前②	4			講義	●	●	●	●														◆	◆		2436-0-11-003		
		マーケティング入門	百合岡 雅博	1	後	2			講義	●	●	●	●														◆	◆		2436-0-11-004		
		簿記入門1	喬 雪水	1	前	2			講義	●	●	●	●														◆	◆		2436-0-11-005		
		簿記入門2	喬 雪水	1	後	2			講義	●	●	●	●														◆	◆		2436-0-11-006		
		都市・地域経済学	瀧波 慶信	2	後		2	講義						○	○	○	○											◆			2436-0-23-007	
		経済統計学1	坂井 一貴	2	前		2	講義						○	○	○	○											◆			2436-0-23-008	
		経済統計学2	(休講)	2	後		2	講義						○	○	○	○											◆			2436-0-23-009	
		起業家塾	百合岡 雅博 高橋 哲郎	2	集中		2	講義						○	○	○	○										◆	◆	◆	◆	2436-0-23-010	
		社会福祉概論	米山 宗久	2	後		2	講義						○	○	○	○										◆	◆	◆	◆	2436-0-23-011	
		地域活性化論	大竹 幸輔	2	前		2	講義						○	○	○	○										◆	◆	◆	◆	2436-0-23-012	
		初級簿記演習	喬 雪水	2	前		2	演習						○	○	○	○											◆	◆		2436-0-23-013	
		初級販売士演習	百合岡 雅博	2	前		2	演習						○	○	○	○											◆	◆		2436-0-23-014	
		商品学入門	百合岡 雅博	2	前		2	講義						○	○	○	○											◆	◆		2436-0-23-015	
		流通論入門	丸山 一郎	2	後		2	講義						○	○	○	○											◆	◆		2436-0-23-016	
		情報処理演習1A	高梨 俊彦	2	前②		2	演習						○	○	○	○												◆			2436-0-23-017
		情報処理演習1B	李 欣洙	2	前②		2	演習						○	○	○	○												◆			2436-0-23-017
		情報処理演習2A	高梨 俊彦	2	後②		2	演習						○	○	○	○												◆			2436-0-23-018
		情報処理演習2B	李 欣洙	2	後②		2	演習						○	○	○	○												◆			2436-0-23-018
		地域福祉論	米山 宗久	3	後		2	講義										○	○	○	○						◆	◆	◆	◆	2436-0-33-019	
		社会調査法	瀧波 慶信	3	後		2	講義										○	○	○	○							◆	◆		2436-0-33-020	
		日本経済論	王 子龍	3	前		2	講義										○	○	○	○							◆			2436-0-33-021	
		世界経済論	広田 秀樹	3	後		2	講義										○	○	○	○								◆			2436-0-33-022
		経済史	王 子龍	3	前		2	講義										○	○	○	○							◆	◆		2436-0-33-023	
		産業史	王 子龍	3	後		2	講義										○	○	○	○							◆	◆		2436-0-33-024	
		ビジネス英語1	伴 浩美	3	前		2	演習										○	○	○	○							◆			2436-0-33-025	
		ビジネス英語2	伴 浩美	3	後		2	演習										○	○	○	○							◆			2436-0-33-026	

3-5 進級・卒業要件【学籍番号24K－26K】

学 位

学生が課程を修了すると、次の学位を授与します。

学士（経済経営学）

修業年限は、4年間です。但し、最長8年間まで在学できます。休学期間は在学期間に算入しません。

*編入学、転入学、再入学の学生の在学期間は学則第15条参照。

進 級

2年次から3年次に進級するには、ゼミナールⅠ前・Ⅰ後及び、ゼミナールⅡ前・Ⅱ後を含め50単位以上が必要です。この要件を満たさなかったとしても教育上特に必要がある場合は、教授会の議を経て学長が判断し、ゼミナールⅠ前、ゼミナールⅠ後を含め46単位以上の修得者に限り、仮進級とすることがあります。

1年次から2年次、3年次から4年次への進級要件はありません。

卒 業

卒業要件

必要な単位は次の通りです。修業年限内に修得してください。

*必修科目、選択必修科目は履修ガイド「3.履修カリキュラムについて【学籍番号24K－26K】」→「3-3 カリキュラム表（授業科目）【学籍番号24K－26K】」で確認してください。

教養科目	必修科目（選択必修科目を含む）24単位 選択科目 12単位以上の合計 36単位以上	36単位
ゼミナール科目	全て必修科目 8単位	8単位
専門科目	必修科目 18単位 選択科目 62単位以上 但し4年次に専門選択科目から6単位以上修得のこと （※資格取得による単位認定は含まない）。	80単位
合 計		124単位以上